

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・保育課程を玄関に置き保護者の方がいつ見ていただいても良いようにしている。 ・中途採用社員も研修をおこなっている。 ・長期保育計画の作成時に使用している。 ・新入社員研修会で基本方針、保育理念等について研修をおこなっている。 ・マニュアルについていつでも確認、見直しができるようにしている。 ・ハンドブック等を使用し、マニュアルについて確認、見直しをおこなっている。 ・定期的に園内会議や研修をおこなっている。 ・見学会や入園説明会等で保育指針、保育理念を提示し伝えている。		
		【課題・対策】		
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・入園前、入園後と個人面談をし、家庭での過ごし方、入園後の家庭での過ごし方など保護者の方と園児の様子を全スタッフで共有している。 ・進級児と新入園児がいるクラスは、生活の流れや慣れが違うため、なるべく個々の子どもに沿った生活に配慮し、それぞれが不安にならないように寄り添っている。 ・複数担任の場合は、できるだけ毎回同じ職員が関わるようにし信頼関係を築いている。 ・園児の様子はクラス内だけでなく昼礼で報告し全スタッフが周知している。 ・コードモンの園内連絡ですべての職員に情報共有している。 ・園内会議等にクラス報告としてクラスの状況や個々の状況をまとめ、全職員で把握、共有できるように対策している。		
		【課題・対策】 ・入園前面談ではできるだけクラス担任も同席するようにして、情報共有を確実にしていく。		
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・常に窓を開けて換気を心掛けている。 ・成長に合わせた玩具を用意し、子どもたちの様子を見て入れ替えたり、興味を示すものなど積極的に取り入れるようにしている。 ・個々の成長に合わせた遊びを取り入れたり、ルールのある遊び(ドッジボールなど)も取り入れている。 ・子どもの遊びの関心に合わせてコーナー遊びの環境を変えている。 ・危険な場所や箇所にはガードをつけたり、年齢に応じて安全に遊べるように工夫している。		
		【課題・対策】 ・感染拡大防止対策をすることで季節によっては室内の温度が快適に過ごすことが出来ないように感じる。 ・玩具の量や種類は少しずつ増えてきているが、玩具によっては少ないものもあるため引き続き子どもたちの興味に合わせて増やしていけると良いと感じる。		
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・昼礼や園内会議で、クラスに課題がある場合は共通理解をし対応出来るようにしている。 ・進級時には次年度の担任に、一人ひとりの細かい様子を記録し伝達している。 ・クラスの担任の間で子どもの苦手なもの、得意なものなど共有し、成長につなげるようにしている。		
		【課題・対策】 ・次年度担任への引継ぎ時間があまりなく、各自で記録を読んでいるが、実際クラスに入り子ども達の様子を観ることが出来ると感じるため、引継ぎ表の提出締め切り日を早して確認する期間を長くする。		
保育上、特に配慮を 要する子どもへの 取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている。
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・各関係機関のスタッフと定期的に連絡を取り合い子どもにとって安心、安全な環境作り、保育内容等、スタッフ全員で共有している。 ・特に配慮を要する子どもは、定期的に臨床心理士に見てもらい相談して、個性や発達に合ったサポートをおこなうようにしている。 ・保護者とも連絡を密にとり、日々子どもの成長や変化を把握している。また、面談が必要に感じた時はいつでもおこなうようにしている。 ・アレルギー児への提供の際は給食スタッフ、施設長、担任で献立を見ながら確認している。(トレー、台布巾も分けている) ・毎日のミーティングノートに持ち込み食があるかどうかの記載があり、前日の昼礼でもアレルギー確認をしている。 ・持ち込み食は当日確認する担当者を決めており、他の人が受け取った場合は担当者へ報告をすることで受け取り忘れがないようにしている。 ・食事前、メニューを読み上げることで、アレルギー児への提供間違いがないかの最終確認をおこなっている。 ・家庭の些細な変化にも全員が共有できるよう会議などで確認している。 ・保護者が子育てに不安や悩みを持っている様子を感じたら、早めに声をかけストレスが軽減できるようにしている。		
		【課題・対策】		

項目	番号	内容	評価	実施していること
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年2回の運営委員会で要望を伝えられる機会を設けている。 ・気軽にご意見など言えるよう朝、夕の時間帯は保護者に声をかけ信頼関係が築けるよう配慮している。 ・苦情やご意見などの際は、他の方を気にせず話せるように事務所や空いている部屋を使って個別に時間を作っている。 ・苦情やトラブルは時間を置かず素早く対応している。 ・玄関に意見箱と用紙を置いている。		
		【課題・対策】 ・再発防止のため、場合によっては苦情を受けた際の過程や結果など、詳細な情報共有が必要だと感じた。		
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	B	自由遊びの時間はコーナー保育ができるように工夫している。年齢や発達に応じた玩具をそろえてあるが、玩具によってはもう少し量や種類があるとさらに遊び込める環境ができる。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・雨天でない限りなるべく戸外で遊べるようにし、少しの時間や午後は園庭を有効に使ったりして存分に遊べる工夫をしている。 ・園庭でクラスが重なって混雑しないよう優先曜日を決め、それ以外は担任同士話し合いながら異年齢交流もおこなっている。 ・カブトムシ、カタツムリ、カイコ、アゲハチョウ等様々な生き物を飼育している。 ・バーテーションを利用して遊び込める環境作りをしている。 ・自由遊びの際は園児が希望するもので遊び、遊び込めるように工夫をしている。		
		【課題・対策】 ・環境設定として、一人でじっくり遊び込めるような工夫がもっと必要だと感じる。 ・年齢や発達に応じた玩具をそろえているが、玩具によってはもう少し量や種類があると更に遊び込める環境ができて良いと感じる。 ・リトミックを全クラスで取り入れる。		
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事できるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園児の発達に合わせた介助をしたり、楽しい雰囲気の中食事が出るよう工夫している。 ・子どもたちの成長や体調に合わせて午睡時間を調節している。 ・子どものやる気を大切にし、少し難しいことにも取り組めるようサポートし、成長を見守っている。 ・各クラスのトイレの時間がある程度、調節し混雑を防いでいる。 ・年齢に合わせた食育を行っている。 ・食事の盛り付けでは、盛り付け方を変える日を増やすなどして、楽しく食事できるように工夫している。 ・『物語メニュー』の日は、玄関のディスプレイの近くに絵本の表紙の掲示をして、保護者の方に楽しんでもらえるよう工夫をしている。		
		【課題・対策】 ・『物語メニュー』では、幼児クラスはおやつを食べる前だけでなくその月は数回その絵本読むようにし、乳児クラスはその月に一度は読むか内容を分かりやすくして読むなどして、楽しんでもらえるような工夫が必要と感じた。		
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のおしりに記載をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・既往症、アレルギーなどは追加、変更が出た場合は園児重要事項一覧を修正し情報を共有している。 ・感染症が流行した際は保護者に周知して、注意喚起や対応の協力をしてもらっている。 ・嘔吐処理の方法を園内研修で年1回は行っている。 ・感染症が流行した際に家庭での予防や嘔吐物の処理方法を保護者の方にもお知らせする書類を用意して配布できるようにしている。 ・嘔吐処理をした後すぐに補充できるように、補充セットを常にくいつか用意している。		
		【課題・対策】 ・嘔吐処理の対応は園内研修でおこなったが、その他の感染症もまん延予防研修に参加しスタッフ全員で共有していく必要があると感じた。		
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・日々の清掃はもちろん、常に園内の整理整頓を心がけている。 ・清掃当番表を作成し、当番を忘れずおこなえるようにしている。 ・感染症まん延防止対策として、蓋付きのごみ箱を各部屋に置いている。		
		【課題・対策】		

項目	番号	内容	評価	実施していること
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コードモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不害者対応訓練を年1回おこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・防犯カメラを数ヶ所設置して、事務所から常に確認出来るようになっている。 ・マニュアルに沿って月に1度の避難訓練でスタッフの動きの確認をしている。 ・昼礼でヒヤリハットの共有をしている。		
		【課題・対策】 ・けがをして病院に連れて行く際、持ち物をすぐに用意できるように、分かりやすくまとめたものを事務所に掲示しておく必要がある。		
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報には鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・人権擁護の研修を年間計画を立てておこない、セルフチェックなどをすることで意識を高めている。 ・おもつ替えやトイレを使用する際は、パーテーションで外から見えないよう対策している。 ・戸外活動中にお漏らしをした際は、シートで見えないようにする等プライバシーを守りながら行うことをスタッフ全員に周知して、対策している。		
保護者との交流・連携		【課題・対策】 ・子どもたちの呼び方を適切におこなっていく。		
	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1〜2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・保育参観を実施して、普段の園での様子を見てもらえるようにしている。また、それ以外の期間でも保育を見たいと希望する保護者には、あらかじめ日時を決めて見ることもできるようにしている。 ・幼児クラスは毎日連絡ツールでやり取りはしていないが、様子が気になった際は連絡ツールで知らせている。 ・保護者支援の一環で子育てポケットを毎月配信、掲示しており、必要に応じて連絡ノートにも添付することもある。 ・保育ドキュメンテーションの掲示を増やして、日々の様子を見て分かるようにしている。		
		【課題・対策】 ・育児の悩みや、子どもとの遊び方の紹介など、保護者が気軽に参加できるイベントを企画していく。 ・保護者への食育として、保護者も参加出来るような食育をおこなう際は参加の募集をしたり、保育参観で食育を設けるなどして、保護者が食への理解が深まる機会を増やす。		
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	B	夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・地域の育児中の方に気軽に参加していただけるようなイベントを考え、月に一回程度開催した。		
		【課題・対策】 ・イベントを開催しても定員が埋まらないことがあるため、発信方法を工夫している。 ・育児相談日を設けて定期的におこなう。		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・近隣の保育園と交流会や手紙交換など、年間を通して数回行ったことで顔見知りになることができ、小学校接続へのひとつとなった。 ・近隣の保育園の職員と一緒に、子育て支援のイベントを企画しおこなっている。(つづきっこ広場)		
		【課題・対策】 ・近隣の小学校との交流会を積極的に企画しておこなっていく。		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・実習生やボランティアの方が来た際にどのように受け入れるのか、どう過ごしてもらうのか研修をしている。		
		【課題・対策】 ・実習生やボランティアは今年度申し込みがなく、実績はなかった。引き続き受け入れの体制があることを周知していく。		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年間を通して園内研修を計画、実施している。また、外部研修に行った際には研修報告書を回覧し全員で共有している。 ・OJTの実施を年4回に分けておこなっている。		
		【課題・対策】 ・研修報告の発表する機会をもっと増やしていく。 ・職員が施設長などと話をする機会を増やすために、面談回数を増やしたり、いつでも面談できるような環境を整えるなど工夫する。		

項目	番号	内容	評価	実施していること
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・異年齢交流をおこなった際は、そのクラスで集まって振り返りを行い次の保育に繋げている。 ・毎日保育の振り返りをおこなっており、日々の保育に活かしている。 ・園の自己評価では職員全員で話し合い、おこなっている。			【課題・対策】 ・保育の記録や保護者へ連絡、保育のツールなどでインターネットを使用しているが、回線速度が遅いことがあるため、ネット環境を改善すると良い。
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・個人情報の遵守、倫理について、日々の保育で守るべきものなどは研修などで、確認している。 ・ハンドブックを使って年1回以上研修をおこなっている。			【課題・対策】 ・欠員が出た際の対応を改善していく。
	この一年間、園目標を「選ばれる園の3原則(安全一番×信用一番×健康一番)」として、子ども達や保護者、スタッフからも選ばれる園にしていこうとして邁進していった。最も重要な子ども達の安全ためには、環境及び衛生の管理、事故防止のための安全対策、緊急時の避難訓練など様々なことをおこなっていき、一つ一つ見直していくことができた。また幼児クラスを対象とした子ども向けのイベントとして、外部から講師を招いて交通安全や手洗い講習をおこなったり、保護者向けには、保育参観の期間を設けたりできたことは良かった。しかし年度初めには内容が固まり切らず、保護者への周知が遅れたり、実施できないものもあったりしたため、年間を通した計画を作成するなど改善が必要である。また資質の向上のため、園内研修のほか多くの職員が外部での研修を受けて必要な知識及び技術の向上を図ると共に、保育などへの課題の共通理解や共通性を高めていくこともできた。外部の研修を受けた職員がそれぞれ自分の言葉で報告をしたことで、改めて自園で充分できていることやもっと改善できること、課題点などに気付くことができた。ただ研修を同じ期間に複数の職員が研修を受けることとなったため、現場に負担にならないように計画を立てていく必要がある。子どもたちのためにどうすればもっと良くなるかを、職員一人一人が考えて、様々なことに挑戦した一年だったため、次年度はそれを活かして、見つけた課題を一つ一つ丁寧に解決していきたい。			